



宮崎県

農業職

～農を支える使命に燃えろ～



農業職という仕事



宮崎県農業・水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

マフィン

宮崎県は日本を食で支える食糧供給県です。
そんな宮崎の農業を「支え」「守り」「振興していく」ために、
農業職の職員は日々業務に励んでいます！



農業職の仕事は大きく分けると
「行政」「普及」「教育」「研究」の4つ！

行政

・農業の未来を見据えた視点で、事業や施策の企画・立案に取り組んでいます。

普及

・生産現場に出て、農業者への技術的な指導や経営改善、地域振興に取り組んでいます。

教育

・農業の将来を担う学生に対し、生産技術や経営等について教える立場で担い手の育成に取り組んでいます。

研究

・野菜や茶、亜熱帯作物、薬用植物など、様々な品目の高品質化や多収化などに向けた試験研究に取り組んでいます。

Q & A 是非知っててください！

Q 国や市町村役場との違いは何ですか？

A 国との違いは、県は生産者との距離感が近いということです。特に普及の仕事は、生産者と顔を合わせながら、密接な関わりを持って仕事をします。

市町村役場との違いは、県域の広い視野が求められることや、高度な専門技術を得ることができることです。また、行政や普及、教育、試験など様々な部門で活躍できます。

Q 入庁後の異動はどうなりますか？

A 入庁後は、幅広い視野や専門的な知識・技能を身につけるため、異なる部門（行政、普及、研究等）の職務を3～4年の周期で経験することとなります。また、人材育成の観点から、専門分野に限らない幅広い経験を積むため、国や他部局への異動もあります。

Q 宮崎の農業の特徴を教えてください。

A 宮崎は生産額ベースの食料自給率が日本1位の食料供給県です。きゅうりやスイートピー、マンゴーやだいこんなど施設園芸から露地園芸まで様々な品目が全国でも上位の生産量を誇っています。宮崎の農業をわかりやすくまとめた資料「統計でみる宮崎県の農畜産業」を作成しておりますので、右記のQRコードから御確認ください。



統計でみる
宮崎の農畜水産業



「行政」の仕事

農業に関わる全般の総合的な調整やとりまとめを行い、農業者が必要とする支援策や企画を立案するなど、県の農業施策の道筋を作っています。



所属

- ・農政企画課
- ・農業担い手対策課
- ・支庁・農林振興局(高千穂、宮崎、日南、都城、小林、高鍋、延岡)
- ・農業流通ブランド課
- ・農産園芸課
- ・農業普及技術課

職員の紹介

所 属:農業担い手対策課
職氏名:技師 押川吉乃



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● メール確認
- 9:00 ● 資料作成
- 10:00 ● 会議準備
- 11:00 ● 生産者との交流会
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 生産者団体との協議
- 15:00 ● 資料作成
- 16:00 ● メール送付
- 17:30 ● 退庁



経歴
R3～ 農業担い手対策課

職員から一言

現在の職場では、現場に出る機会は少ないですが、自分で準備した研修会などが実現し、参加して良かったなどの感想をいただくと、やりがいを感じます。

職場の雰囲気もとても良く、多くの方々を支えていただきながら、日々の業務に取り組んでいます。

所 属:児湯農林振興局
職氏名:副主幹 岡部玲二



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● スケジュール確認
- 9:30 ● 新規就農者受入体制についての会議
- 12:00 ● 道の駅で昼食
- 13:00 ● 特産品プロジェクト会議
- 16:00 ● 農業金融書類確認
- 17:30 ● 退庁

経歴
H14～16 総合農業試験場
H17～19 東臼杵農林振興局
H20～22 西臼杵農業改良普及センター
H23～25 営農支援課
H26～28 総合政策課
H29～R元 みやざきブランド推進室
R2～3 東京事務所
R4 児湯農林振興局

職員から一言

色々な職場を経験してきましたが、共通点は「宮崎の農業を良くすること」
農業者の皆様や市町村、関係団体と力を合わせて課題解決に取り組むのはとても楽しく、やりがいのある仕事です。

一緒に宮崎農業の未来を考えましょう！

「普及」の仕事紹介

生産者との距離が最も近い職場です。米や野菜、果樹、花きといった品目の担当から、担い手や地域振興の担当もあり、農業者への技術指導や経営指導などを行っています。

所属 ・農業改良普及センター
(高千穂、国富、日南、都城、小林、西都、日向、延岡)

職員の紹介

所 属:南那珂農業改良普及センター
職氏名:主任技師 前田優香子



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● メール確認
- 9:00 ● 展示ほ場調査
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 農家巡回
- 16:00 ● 資料作成
- 17:30 ● 退庁

経歴
H24～H26 総合農業試験場
H27～H30 東臼杵南部農業改良普及センター
H31～R3 農業流通ブランド課
R4～ 南那珂農業改良普及センター

職員から一言

これまで4つの部署を経験し、県内外の農業者や加工・販売業者など様々な業種の方と繋がりを持つことができました。現在は、果樹の生産農家への技術支援を行いながら、農家が抱えている課題の把握と解決に努めています。皆さんも様々な人と出会い、色々な経験をしながら宮崎の農業の発展に携わってみませんか。

「教育」の仕事紹介

未来の農業を担う学生に資格取得の支援や栽培技術、経営ノウハウの指導を行っています。

所属 ・県立農業大学校

職員の紹介

所 属:県立農業大学校
職氏名:准教授 黒木宏憲



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 職員朝礼
- 8:50 ● 授業(座学)
- 12:00 ● 昼食
- 13:10 ● 授業(実習)
- 16:30 ● 担当農場終礼
- 16:40 ● 放課後活動(資格取得支援等)
- 17:30 ● 退庁

経歴
H16～17 営農支援課
H18～24 総合農業試験場亜熱帯作物支場
H25～27 農産園芸課
H28～R1 中部農業改良普及センター
R2～ 県立農業大学校

職員から一言

農業大学校は農業に関する経験や人生経験が活かせる大変やりがいのある職場です。皆から「先生」と呼ばれ、はじめは照れくさく感じたのを今でも覚えています。「先生」という立場で、将来の農業を担っていく学生達と一緒に、本県の農業を盛り上げていきましょう！



「研究」の仕事紹介

農業者が求める品目の高品質・多収化などの技術開発や、新たな栽培技術の確立、新品目導入のための優良系統選抜を行うなど、研究者として農業振興に携わっています。



所属

- ・総合農業試験場(宮崎)
- ・畑作園芸支場(都城)
- ・亜熱帯作物支場(日南)
- ・茶業支場(川南)
- ・薬草・地域作物センター(小林)

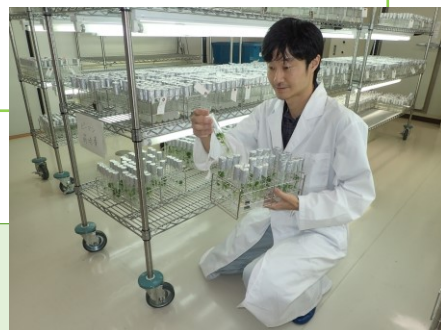
職員の紹介

所属:総合農業試験場
職氏名:主任研究員 武田和宣



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 打合せ
- 8:45 ● ビーマン鉢上げ
- 10:00 ● ビーマン交配
- 11:00 ● ビーマン採種
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 薬培養植物体調査
- 15:00 ● 青枯病接種
- 16:00 ● テータ取りまとめ
- 17:30 ● 退庁

経歴
H18~19 地域農業推進課
H20~24 南那珂農業改良普及センター
H25 東京事務所(高島屋研修)
H26~28 農産園芸課
H29~ 総合農業試験場



職員から一言

農業職は、行政・普及・試験研究の3つの仕事に携われる貴重な職種です。県内・県外出身は関係ありません。大事なのは「宮崎の農業のために汗を流したい」という熱い思い。力を合わせて一緒に頑張りましょう！

所属:総合農業試験場
職氏名:主任研究員 田村瑞紗



- 8:20 ● 登庁
- 8:30 ● 作業の確認
- 9:00 ● スイートピー品質調査
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● スイートピー管理作業
- 15:00 ● テータ取りまとめ
- 16:00 ● 試験・作業の準備
- 17:30 ● 退庁

経歴
H24~25 営農支援課
H26~28 西臼杵支庁
H29~R2 東臼杵南部農業改良普及センター
R3~ 総合農業試験場



職員から一言

スイートピーの栽培技術や品種育成に関する試験を担当しています。これまでの技術を踏まえた上で、新たな技術に挑戦することが求められ、反省と発見の毎日です。全てがうまくいく訳ではないですが、失敗から学び、挑戦し続けることを忘れずに、スイートピーの発展に繋がる技術や品種を作りたいです。



こんなことに取り組んでいます！



産地を育て、世界に羽ばたく

産地づくり

どんな農産物の産地を作るかを企画し、関係機関と連携して「産地づくり」を行います。その時々的情勢やマーケットからの要求に応えるだけでなく、先見の明を持って企画できる能力が県職員には求められます。県の特産品「完熟マンゴー」も県と関係機関が一丸となって産地を育成したものです。

農産物輸出の推進

輸出先国の需要や規制に対応した輸出産地の育成を進めており、例えば茶では、海外から求められるオーガニック茶の産地づくりを支援しています。

また、香港事務所に農業職を1名派遣し、消費ニーズの収集や販路開拓などに取り組んでいます。

技を磨き、イノベーションを生み出す

スマート農業の推進

生産力を強化するために、ICTの活用や機械化による超省力化、高品質生産を実現する「スマート農業」の取組を進めています。例えば、環境制御技術を導入し、生産性を伸ばす施設園芸や、茶における無人収穫機械、ドローンを活用した生育診断等の支援・研究を行っています。

革新的な技術開発

新たな時代の扉を開く鍵は技術革新にあることから、農業試験場では、国や大学、他県、企業と連携しながら、本県農業の発展につながる試験研究に取り組んでいます。

具体的には、水稻や茶、野菜、花き等の新品種育成や、地球環境に優しい栽培技術の確立、分析技術の高度化や農業のスマート化等、技術開発の面から本県農業を支えています。

人を育て、農業を守る

担い手の確保

担い手の確保は、農業分野における一番重要な課題といっても過言ではありません。県では、担い手を確保するため、就農希望者を対象に、県内外で就農相談会を実施しています。

また「お試し就農」といって、農業法人への就農希望者と農業法人のマッチング等も実施しています。

担い手の育成

せっかく就農しても、離農されてしまっただけでは意味がありません。そこで県は、新規就農者や地域のリーダーとなる担い手に対して研修等を行っています。

また、農業大学校では、次世代の農業を担うために必要な知識習得の場を提供し、地域の大切な担い手として人材育成に努めています。

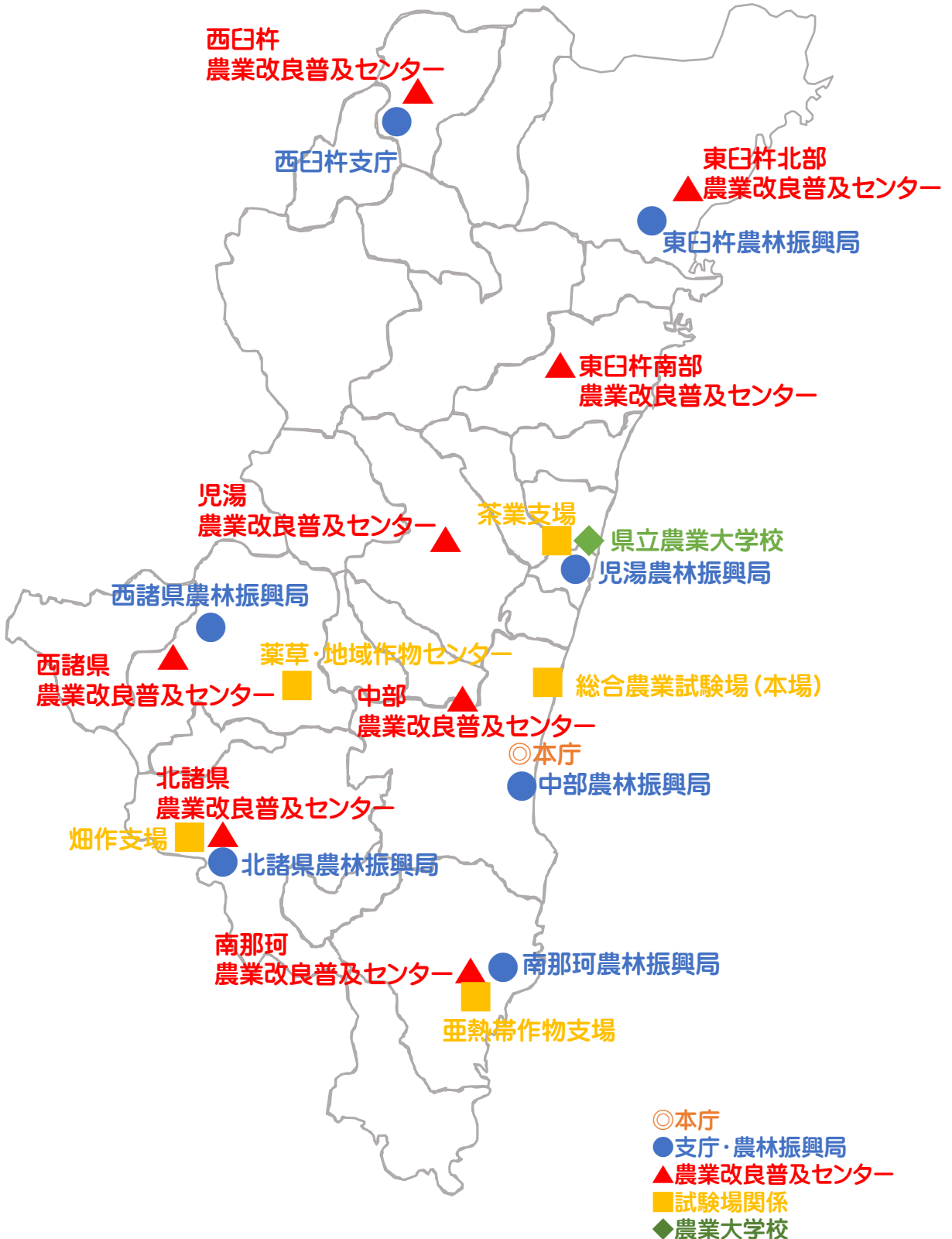
他産業からの農業参入促進

高齢化等により産地の生産力低下が懸念される中、資本力や新たな技術を有する企業等と農業・農村の連携が重要となってきています。

このため、県では、食品加工業や流通・販売業、IT企業など、多様な分野からの農業への参入を支援しています。



主な勤務先マップ





宮崎県農業・水産業ナビ

マフィン

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

宮崎県農政水産部ホームページ

ひなたマフィン

検索

情報満載！ぜひアクセスを！⇒



ひなたMAFiNのメルマガ・SNSを是非登録してください！⇒
県内の農業に関するタイムリーな情報をお届けしています。



動画もチェック！

現役職員が「農業職」を目指した動機や業務状況、休日の過ごし方など、リアルな情報をお届けします。



【研究】沖野技師



【行政】押川技師



【普及】前田主任技師

宮崎県農政水産部

【問い合わせ先】

宮崎県 農政水産部 農政企画課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

TEL:0985-26-7123 E-mail:noseikikaku@pref.Miyazaki.lg.jp